



う え き

発行 植木町合併特例区協議会



平成22年
6月号
第1号



第3回すいか祭りin田原坂

すいか早食い大会

区長あいさつ

植木町合併特例区長 藤井修一

植木町は3月23日に合併して人口73万人の新熊本市の一員となりました。役場は植木総合支所に衣替えし、併せて旧植木町の区域に合併特例区が設置（5年間）されました。特例区は、合併による不安を解消するとともに、地域の特性を生かして住民主体のまちづくりを進めるために設けられました。地域自治活動の支援や地域振興イベントの開催、観光の振興などを担うとともに、合併協議でまとめられた事業の推進を図ります。その状況をこの紙面でお知らせします。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

会長あいさつ

植木町合併特例区協議会会長 森 勢剛

今回植木町合併特例区協議会会長に就任しました。いよいよ植木地域は、新市の北の玄関口として動き出しました。私たち協議会の目指すものは、地域におけるコミュニティ施策の実施、伝統行事やイベントへの取り組み、観光振興への取り組み、住民の皆さんへの情報提供です。さらには政令市の実現、また法定協議会において承認・決定された新市計画と10年間290億円投資の確実な実行に向け協議会一丸となってがんばります。皆様のご理解ご協力をお願い申し上げ挨拶の言葉といたします。

第3回すいか祭り in 田原坂

5月2日、3日

2日間で約1万1千人、大賑わいでした。

すいかまつりのスタンプラリーで公園をくまなく探検しました。



すいかの飾りぼりすご〜い



来て見て！チアダンス♪

植木町産の農作物やスイーツ類、だご汁などよく売れていました。



すいかでお面を作ったよ



田原坂ウォークラリー 2010、さあ 出発！

3つのイベントが一同に開催！

- 2日 JR九州ウォーキング
JR 田原坂駅スタート
- 3日 田原坂ウォークラリー
七本官軍墓地からスタート
- 3日 西南戦争遺跡めぐり
玉東町からスタート



遺跡めぐりは玉東町から



すいか音頭で盛り上がりました

- ◎堀 義徳（植木）
- 福田 誠也（山本）
- 嶋津 幸之助（田原）
- 丸山 信常（菱形）
- 池部 正信（桜井）
- 藤本 俊行（山東）
- 石上 尊志（吉松）
- 新生 恒明（田底）
- 井餘田 惣一（大和）
- *◎は会長
- は副会長

平成22年度 嘱託員会長会紹介

広報部会

- 部長 森 勢剛
- 副部長 住野弘行
- 広報委員 安達俊昭
- 田上謙治 田中忠正
- 牧野光明 野中麗子
- 園川良二

編集後記

熊本市と合併した我が植木町は、合併に伴い制度等が変わるために激変緩和策として、合併特例区を設け、協議会が作られました。その協議会の活動を植木町域の市民の皆様にお知らせするため、広報紙を発行することになりました。ご愛読いただき、合併による不安等を払拭できれば幸いです。毎月発行予定ですので、よろしく願います。

住野弘行

コミュニティ部会

◎牧野光明 ○大杉忠義 協議会構成員全員

コミュニティ部会では「住民自治組織の形成に関すること」を行います。まず第1に、はっぺん祭、田原坂ウォークラリー大会、田原坂健康マラソン大会などの参加、第2に嘱託員制度から校区自治協議会制度への移行についての調査研究です。市の校区自治協議会がどのような活動を行っているか調査し、住民皆さんの意見をお聞きし、さらに安全・安心なまちづくりを行っています。

牧野光明

福祉教育部会

◎安達俊昭 ○野中麗子 住野弘行
大橋健介 大杉忠義 林田敏生
田内新一 園川良二

植木地域における福祉の充実と学校教育、社会教育および文化活動の振興などの研究・調査を実施し、心豊かで暮らしよい地域づくりを目指します。

安達俊昭



▲コミュニティ部会の活動
自治会制度校区説明会

地域振興部会

◎田上謙治 ○嶋村光雄 森 勢剛 泉田義和
田中忠正 牧野光明 小山逸利

地域振興部会では、豊かな自然、伝統ある歴史と文化、植木温泉郷などの地域の特性を生かした新市の魅力アップづくりに取り組んでいきます。これからのまちづくりは、住民一人ひとりの関心度合いと主体的な参画・協働のもとに成り立つものです。本地域は九州における交通の要衝でもあり「未来につなぐ新市の北の拠点づくり」に努力していきます。

田上謙治

植木町合併特例区とは

●設置の目的

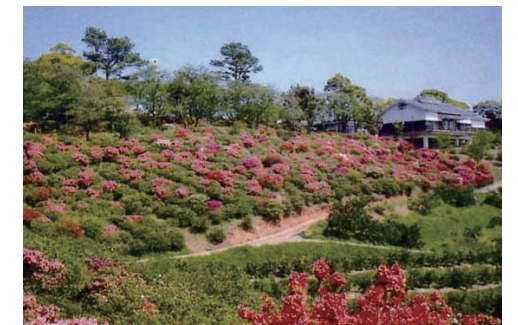
合併による不安を取り除き、地域の特性を生かした住民主体のまちづくりを進めるために設置されました。

●設置期間

平成22年3月23日から平成27年3月22日までの5年間です。

●処理する事務

- ① 公の施設の設置及び管理 *下記の施設です。
・田原坂公園・田原坂資料館・植木町文化ホール
- ② コミュニティ関連施策
- ③ 地域振興イベント並びに文化及び伝統の継承
- ④ 地域の観光振興の関連事業
- ⑤ 新市基本計画の進行管理等をおこないます。



田原坂公園

●合併特例区長の仕事

- ・合併特例区の代表としてその事務を総理します。
- ・合併特例区の職員を指揮監督します。

●合併特例区協議会

合併特例区が処理する事務に関して審議し、また、必要に応じて市長、その他の機関または合併特例区長に対して、意見を述べるなどの権限を有します。

●協議会の仕事は

- ・特例区規約の変更に関する同意
- ・特例区予算の同意、決算の同意
- ・地区嘱託員との意見交換
- ・特例区が実施するイベントへの参加
- ・部会による活動（コミュニティ部会・地域振興部会・福祉教育部会・広報部会）

平成22年度植木町合併特例区予算

(単位：千円)

歳入

1. 合併特例区交付金	88,563
(市からの交付金)	13,080
2. 使用料及び手数料	110
(文化ホール等の使用料)	
3. 諸収入	0
(書籍販売収入等)	
合 計	101,753

歳出

1. 総務費	75,168
(報酬、はっぺん祭助成、文化ホール運営費等)	
2. 民生費	4,610
(敬老会委託料等)	
3. 農林水産費	800
(スイカ祭り助成等)	
4. 商工費	7,885
(温泉納涼花火大会助成等)	
5. 土木費	4,830
(田原坂公園管理費)	
6. 教育費	8,460
(田原坂資料館管理費等)	
合 計	101,753

◆総合支所からのお知らせ

◆合併後のごみの出し方について次の点にご注意ください。

①「3リットル袋」

合併後も旧植木町では今までどおり「植木町役場」および「植木町」と記載されたゴミ袋のみをご使用ください。

※注「熊本市」との記載のある「3リットル袋」は、使用できません。

②ごみ出しのルールは合併後も変更ありません

③雨天時の資源ごみの回収

紐かけ収集品目(新聞紙・チラシ・本類・古着等)は回収できません。

◆行政相談お知らせ

日時 6月10日午前9時30分
～正午まで

場所 植木総合支所1階 市民相談室B

相談者 行政相談員 浜田暁子

◆訂正

4月末に配付しました閉町記念誌の29ページ種田山頭火の句碑「松はみな枝垂れて南無阿弥陀仏」とありますが「南無阿弥陀仏」は「南無観世音」の誤りでした。お詫言して訂正します。